

英領北海における油ガス田権益の買収について

各位

当社(社長:平井 茂雄)が100%出資する英国法人JX Nippon Exploration and Production (U.K.) Limited(社長:中田 賢明、以下、「JXNEPUK」)は、Eni社が英領北海に保有する複数の油ガス田の権益の買収に合意しましたので、お知らせいたします。

今回買収に合意したのは、生産中の17油ガス田、開発中の1油田、既発見未開発の7油ガス田等の権益です。

本買収の対象には、英領北海の既発見未開発油田の中で最大規模と見込まれ、近い将来に開発移行が期待されるマリナー油田や、JXNEPUKが既に権益を保有し、開発検討中のカリーンガス田の権益が含まれており、今後、これら油ガス田の開発が進めば、当社の中長期的な石油・天然ガス生産量増加に貢献することとなります。

また、対象にクレイモアー油田をはじめとする生産中の油ガス田や、2013年の生産開始に向け開発中のキヌール油田の権益も含まれており、これらの油ガス田は、足元の生産増に直接的に寄与します。

本買収による権益増加により、当社の英領北海における生産量は、2020年頃には日量4~5万バレルに達すると見込んでおります(※)。この生産増は、当社グループの長期ビジョンである「2020年の生産量:日量20万バレル」の達成に大きく寄与するものと期待しております。

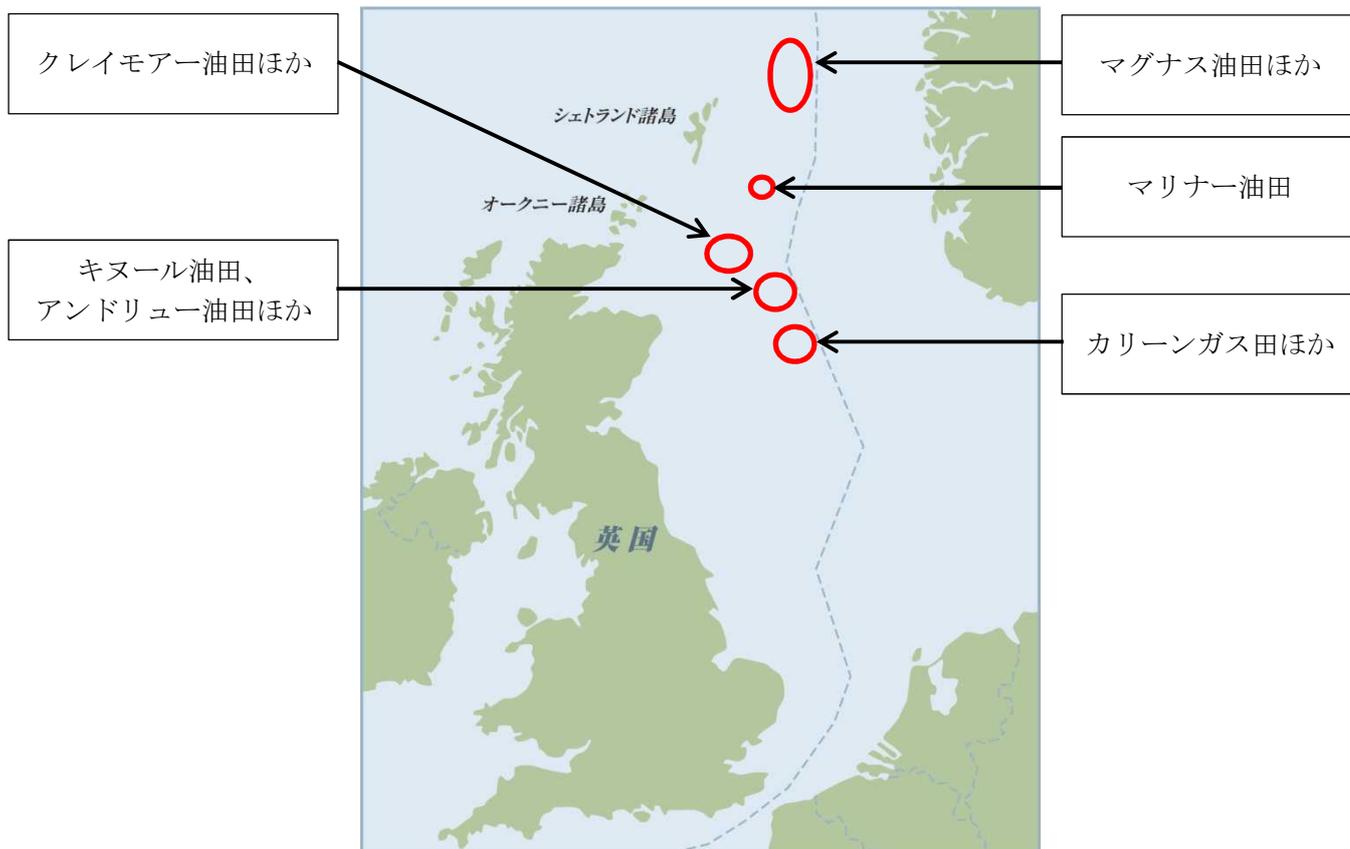
(※…2011年度実績:日量9千バレル)

なお、本権益買収は英国政府の承認をもって権益譲渡が完了します。また、一部の買収対象油ガス田については、既権益保有者に先買権があります。

当社は、生産中の油ガス田が多く、事業機会の豊富な英領北海をコア地域と位置付けております。本年はキヌール油田の権益を交換により取得したほか、英国政府が実施した新規探鉱区に関する第27次公開入札により18鉱区を取得するなど、着実に事業基盤を拡大しており、今後も同地域において、積極的に事業を展開してまいります。

以上

1. 主な買収対象油ガス田 位置図



2. 主な買収油ガス田の概要

油ガス田	キヌール油田	カリーングラス田	マリナー油田	クレイモアー油田
対象鉱区	16/23a, 16/24a	22/25e	9/11a	14/19n
パートナー	BP 77.06% (オペレーター)	Maersk 49.99% (オペレーター)	Statoil 65.11% (オペレーター)	Talisman 72.48% (オペレーター)
	JXNEPUK 22.94% (うち既保有分 6.27% 今回取得分 16.67%)	JXNEPUK 34.01% (うち既保有分 17.06% 今回取得分 16.95%)	JXNEPUK 28.89%	JXNEPUK 20.00%
		BP 16.00%	Cairn 6.00%	Dana 7.52%
状況	開発中 (2013年中に生産開始予定)	既発見未開発 (開発検討中)	既発見未開発 (開発検討中)	生産中

以上